

中国新聞 @ アルファ

http://www.chugoku-np.co.jp/
セレクト購読者は全てご覧になれます



中国新聞 SELE

老朽原発 申請全て「合格」

主な「老朽原発」の現状

	所在地	経過年数	出力(万kw)		
40年ルールで廃炉	敦賀1号機	日本原電	35.7		
	美浜1	福井県	34		
	美浜2	関西電	50		
	島根1	中国電	46		
	伊方1	四国電	56.6		
運転延長手続き終了	玄海1	九州電	55.9		
	高浜1	関西電	41		
運転延長手続き中	高浜2	福井県	40		
	美浜3	関西電	39		
運転35年超	東海第2	日本原電	茨城県	37	110
	大飯1	関西電	福井県	37	117.5
	大飯2			36	117.5
	玄海2	九州電	佐賀県	35	55.9

「40年」 廠



関西電力美浜原発の3号機(手前)。奥左は1号機、中央は2号機(福井県美浜町)

号機も仮処分決定で停止したまままで稼働の見通しは立っていない。関電幹部は「高浜の裁判が気掛かりだ」とこぼす。

▼50万kwが分かれ目

40年ルールで原発の選別が始まっている。2015年春以降、5原発6基が廃炉になった。出力はいずれも30万〜50万kwほどと小規模だ。これに対し延長審査に合格した3基は80万kw以上。美浜3号機の次に古い日本原子力発電東海第2(茨城県)と関電大飯1、2号機(福井県)は100万kw超で、両社は延長を目指す。電力業界では「50万kwが存廃の分かれ目」との見方が広がる。

原子炉圧力容器は運転中、放射線の一つである中性子を浴び続け、鋼材の強度が劣化する。40年超運転の経験は世界でも多くなく、「劣化がどのように進むか、完成された知見がない」(元原発設計技師の田中三彦氏)。

原子力コンサルタントの佐藤暁氏は「設計が古いまま維持されるのが一番の問題だ」と警鐘を鳴らしている。

本日のセレクト

7 被爆直後の長崎体感



- 2 アマゾン
- 3 米副大統領
- 4 がんばらな
- 5 サンフレ?

セレクト価格
朝刊+937円=月額4,030円
(3,093円) (税込)

「先生、歯は大事じゃねえ。歯石を取ってもらうてから、血が出んようになった。孫にも臭いと言われんようになった。わしゃ、この年で初めて歯が大切じゃいんがようわかったよ」
私の所だけではありません。会員の歯科医院でもよく聞かれる患者さんからの感謝の言葉です。虫歯や歯周病の治療が終わった後、SPT(歯周病安定期治療)という歯のクリーニング

想



かわはらまさてる
川原正照

身体は健康はお口から

を含めたメンテナンスを保険でできるようになりました。メンテナンスでは歯垢や歯石、着色の除去、かみ合わせの調整などをすることによって、再発しやすい歯周病を予防し、お口の健康を維持できます。虫歯が見つかれば、その都度早いうちに治療が可能となります。

お口の中だけではありません。歯の数が多いほど認知症にかかりにくい、適切な口腔ケア

によって、高齢者肺炎のうちの大部分を占める誤嚥性肺炎の発症率が著しく低下するといったことは既に知られています。それに加えて、がんの治療前に歯科医師や歯科衛生士による専門的口腔ケア(術後期口腔ケア)を行うことにより、術後の合併症の減少や、早く口から栄養を取れるようになる、入院期間が短くなるといった多くのメリットがあることも分かっています。

歯周病が原因となって糖尿病が悪化することや、心疾患や脳梗塞の原因となる血栓の中に歯周病菌が多いことも分かっています。歯周病の治療はただ歯の治療だけでなく、全身の病気の治療にもいい影響をもたらす、医療の質の向上に寄与するというわけです。

痛くなってから、慌てて歯科医院に行くのは昔の話になりました。定期的な健診とメンテナンスをして、健康で明るい人生を送りましょう。
(広島市歯科医師会会長)